



あと一步の向上に向けた取組

函館市立亀尾小学校

生活習慣・学習習慣の形成 基礎的・基本的な知識・技能の習得 望ましい学習態度の育成 学校組織・指導体制の改善

1 学力向上の具体的な方策

- ①校内研修の充実と基礎的・基本的な知識や技能の確かな定着を図るため、全員での研究授業の公開による授業力向上と、個に応じた指導の充実。
- ②学力の確かな定着を目指す指導体制の工夫・改善として、複式学級における授業の単式化や、年間指導計画の見直しによる効率的な複式授業の形作りと、小中連携した指導体制づくり。

2 取組の概要

〈①に対して〉

- ・「考えをわかりやすく伝える力の育成」～読む・書くを通して向上する表現力を求めて～をテーマに、全員が授業を公開するなど校内研修の進化に努め、授業力の向上を図る。
- ・朝学習における読書活動やドリル・小テストの繰り返し、チャレンジテストの活用、家庭との連携による家庭学習の充実で学力の定着を図る。
- ・必要に応じて、放課後や休み時間を利用した個別指導を行い、学力の一層の向上・定着を図る。

〈②に対して〉

- ・複式学級において、教頭が一方の学年の国語の教科を受け持つことにより、入門期1・2年国語の授業の単式化を図り、学力の確かな定着を図る。
- ・外国語活動・音楽・理科・社会等、中学校教員の授業への乗り入れを行い、より専門性を生かした指導で、学力の向上を図る。
- ・特別支援教育支援員を活用し、より個に応じた指導を図る。



3 成果 (○) と課題 (●)

- 少人数の利点を生かし、個々の学力の定着・向上等、一定程度の成果が認められた。家庭学習についてもおおむね習慣化されてきている。
- 中学校教員の授業への乗り入れにより、授業の単式化が図られ、より専門性を生かした指導で学力の定着・向上が一層図られた。
- 特別支援教育支援員の活用により、学習に困り感を持つ児童への個に応じた指導の充実が図られた。
- 小学校職員数が減ったため、授業の単式化が難しくなった。また24年度の中学校指導要領完全実施に伴い、中学校教員の授業への乗入れ協力等、指導体制についての見直しや、更なる改善工夫を図る必要がある。